

# 恵庭消防の沿革

恵庭の開拓の始まりは、明治3年高知藩の移住により鋤が入られたのが最初であり、本格的な開拓が始まったのは明治19年、山口県岩国・和木地方からの集団移住65戸が漁川沿いに入植した（団体移住のはじまり）  
「恵庭市の概要」より

- 大正 4年 野原秀太郎氏外多数の有志により茂漁地区に私設茂漁火防組設立  
北岡善作氏外多数の有志により漁地区に私設漁火防組を設立  
宮田早太郎氏外多数の有志により中恵庭地区に私設恵庭火防組設立
- 大正 5年 田中善松氏外多数の有志により中島松地区に私設島松消防組設立
- 大正10年 私設茂漁、漁火防組、島松消防組が発展的に解消し、改めて公設恵庭村消防組が誕生  
茂漁を第1部、漁を第2部、島松を第3部
- 大正12年 私設恵庭火防組が恵庭村消防組として公認され第4部  
公認恵庭村消防組設置4部制として発足。初代組頭に大川鶴次郎氏就任
- 大正13年 加藤梁一氏外多数の有志により中央地区に中央私設消防組設立
- 昭和 9年 消防組の組織を4部制から3部制に改め、漁・茂漁地区を第1部、島松地区を第2部、  
中恵庭地区を第3部
- 昭和10年 福本豊一氏外多数の有志により恵庭駅前地区に恵庭駅前私立消防組設立
- 昭和14年 消防組を改組し恵庭村警防団。初代警防団長に田中菊治氏就任  
第1部を第1分団、第2部を第2分団、第3部を第3分団
- 昭和21年 橋本数馬氏外多数の有志により漁太地区に漁太私設消防団設立
- 昭和22年 警防団を消防団に改団し、恵庭村消防団。初代消防団長に嘉屋辰十郎氏就任
- 昭和24年 恵庭村消防団条例を定め、1団3分団制となり定員108名
- 昭和26年 町制施行
- 昭和34年 小玉運吉氏外多数の有志により北島地区に北島松私設消防団設立
- 昭和39年 消防本部設置。初代消防長に田中菊治氏就任（町長事務取扱）
- 昭和43年 政令指定を受け消防署を設置。初代消防署長に平本繁氏就任（本部次長兼務）
- 昭和45年 漁太、北島松両私設消防団を公設消防団に編入し、漁太地区を第4分団、北島松  
地区を第5分団。1団5分団制  
市制施行
- 昭和48年 消防創設50周年記念式典挙行
- 昭和55年 消防総合庁舎を有明町に移転改築
- 平成 7年 恵庭市消防団条例を改正し、団員定数を120名  
消防署南出張所を和光町に新築
- 平成 9年 消防署島松出張所を南島松に移転改築
- 平成26年 消防総合庁舎を増改築
- 令和 5年 消防創設100周年記念式典挙行